

## 大人の贅沢

## スキー旅

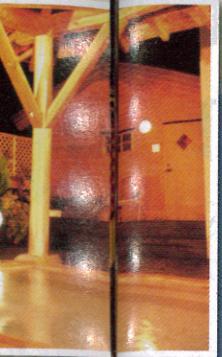
八方尾根スキー場  
東京駅からJR長野新幹線で長野駅、  
駅前から白馬シャトルバス利用で  
約2時間50分。



ゲレンデを滑るだけじゃなく、電車旅の楽しさや温泉と美食の魅力、そして雪国観光も欲張りたい。そんな思いからスキーに旅の気分をプラスして計画を立てる「スキー旅」がトレンドになりそうな気配だ。年を重ねた大人ならではの愉しみのスタイルがまた一つ広がった。

おしゃべりと駅弁に  
夢中になる電車旅。

「スキーだけじゃなくて旅行も楽しもう」という計画があるんだ」と興奮気味に夫が話しかけてきた。詳しく聞くと、旧友たちと好きなゲレンデを披露し合う話が盛り上がり、その土地自慢の料理や温泉、観光地にまで話題がおよぶ。



全国トップレベルの強アルカリ温泉で天然の石鹼のような肌触り。水の粒子が大変細かいため、お風呂上りの素肌がとてもなめらかに。

かな雪質で私たちをやさしく迎えてくれた。久々のスキーで不安気味だった気持ちもほぐれ、リフトに乗り込み山頂へ。地上から遠ざかっていくこの時間は、日常から離れていくような不思議な気分にひたれるのがいい。

山頂に着くとすぐ、壮大な雪景色をバックにみんなで記念撮影。滑る

よんだらしい。そこで誰かが「旅行気分でスキーに行こう」と提案して、今回の計画が生まれたそうだ。スキーは20年ぶりという私も何だか楽しそうな気がして、思わず「私も連れてって！」と主人に頼むと、「そのつもりだったよ」と笑って答えてくれた。

さて出発日は、主人の旧友たちと合流したあと長野新幹線に乗って八方尾根へ。車内では、尽きない思い出と彩り豊かな駅弁に誰もが夢中になっている。そんな電車旅ならではの楽しい時間はあつという間に過ぎ、気づけば窓の外は白銀の世界に。気持ちの昂ぶりを抑えられず、私たちの心は、もうゲレンデに向かっていた。

風と一体になれば、昔と同じ快感が蘇る。

八方尾根スキー場は、そのきめ細



地元を中心に毎朝日本各地から届く野菜や魚など新鮮な旬の素材を使い、やさしい味わいに仕上げた創作和食料理。

地を発つ。行き先は、冬ならではの長野の見どころ。旅情もいっそう深まる風景を満喫したあとは、名残惜しさを感じつつも帰りの新幹線へ向かう。みんなの幸せな顔に、スキーも旅も一緒に楽しむ今回の計画は成功だなと思った。

のやさしさを感じる。ゲレンデで今シーズン最後のスキーを思う存分に味わつたあと、予定通り午後早めに現

るらしい肌触りがたまらない。湯加減だけだったあの頃と違い、年を重ねたいまはゲレンデでも観光気分を堪能できる。「大人の余裕だな」と誰かのセリフに笑い合つたあと、それぞれのペースで滑り始めた。徐々にフォームを思い出した私と主人は、スキーヤー憧れのコースに挑戦。ゲレンデを滑りながら風と一体になれると同時に、昔と変わらない快感を感じえる自分がいた。

期待以上の温泉に満足したあとは、ほどよい空腹感を覚えながら宴会場に向かう。テーブルに並ぶのは、地場の食材を使った創作和食料理。まさに舌がとろけそうな美味に、誰もが至福の表情になる。お腹もいっぱいになつた頃、夫の「気分を替えようか」という一言に、この宿自慢の屋外バーに語らいの場を移した。かまくらのなかでおでんをつまみながら、おいしいお酒を飲めるという企画に驚き。そんな冬だけのちょっとお洒落な空間で、私たちは「大人の贅沢」をかみしめた。

翌朝は、宿の無料送迎バスで再びゲレンデへ。歩いても行ける距離にも、こんな心遣いがありスキー客へ



ロビーラウンジから標高3,000m級の北アルプスを一望できる「ホテル五龍館」。アットホームな接客とチェックイン前とアウト後に温泉に入れるなど嬉しいサービスが魅力だ。

住所:長野県北安曇郡白馬村大字北城3353 TEL:0261-72-3939

JSP

日本スキー産業振興協会 <http://www.jaspo.org/SKI/01index.html>